



参加した家族連れたちと論語の素読を行う安岡さん(左) 24日、松江市乃木福富町小松電機産業株式会社内太陽ホールで

家族で論語に親しむ

松江 安岡定子さんが「論語の素読」講演

儒教の始祖、孔子の教えが記録されている

「論語」を楽しく学んで理解しようと、県内各地で論語の素読会や講習会を開いている「めだか論語普及会」が二十四日、松江市乃木福富町の小松電機産業株式会社内の太陽ホールで、安岡定子さんによる講演会「家族で楽しむ論語の素読」を開いた。

安岡さんは、東洋思想家の故安岡正篤氏を祖父に持ち、東京都内を中心に全国各地で論語の定例講座を開いている。また、「親子で楽しむ論語塾」「親子で楽しむ論語塾」その2」などの著書がある。

安岡さんはこの日、会場に集まった家族連れを中心とした約百五十人の参加者らを前に「皆さんが困ったときに助けてくれる、人や言葉にいつか必ず出会います。言葉は形が見えないけれども、今日読む『論語』に書かれている言葉はちゃんと皆さんの栄養になります」と話しながら、「論語」の魅力について説明した後、会場の全員で素読を行った。その後も参加した多くの子どもたちが自ら志願し素読を発表するなど、会場はわきあいあいとした雰囲気包まれた。

安岡さんは最後に「古典には人が大切にすべきことが書かれているが、それを実行するのは難しい。どういう方法で実行するのか自分で考えて行動できるようにしたい」と締めくくった。